

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 27 年 10 月 15 日 (2015.10.15)

【公開番号】特開 2015-158334 (P2015-158334A)  
 【公開日】平成 27 年 9 月 3 日 (2015.9.3)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-055  
 【出願番号】特願 2014-34147 (P2014-34147)  
 【国際特許分類】

F 2 3 C 9/08 (2006.01)

F 2 3 C 99/00 (2006.01)

【F I】

F 2 3 C 99/00 3 1 8

F 2 3 C 99/00 Z A B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 27 年 8 月 21 日 (2015.8.21)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ボイラで燃焼された排ガスを排出する経路から分岐し、スクラバーを介して、イナータガスとして原油タンクに流通させる第 1 経路と、

前記原油タンクから発生した V O C ガスを前記ボイラの火炉内または前記ボイラの点火装置であるバーナに流通させる第 2 経路と、

前記第 1 経路の前記スクラバーより下流側と、前記第 2 経路とを接続する第 3 経路とを備え、

前記原油タンクからの V O C ガスの発生量が所定値以下の場合に、前記第 3 経路に前記イナータガスを流通させて、前記ボイラの火炉内または前記バーナに前記イナータガスを供給させることを特徴とする排ガス再循環システム。

【請求項 2】

前記スクラバーは、前記イナータガスを 80 以下程度の温度に低下させることを特徴とする請求項 1 に記載の排ガス再循環システム。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の排ガス再循環システムを備える船用ボイラ。

【請求項 4】

原油タンクからの V O C ガスの発生量が所定値以下の場合に、ボイラで発生した排ガス中のイナータガスであって洗浄後のイナータガスを、前記ボイラの火炉内または前記ボイラの点火装置であるバーナに流通させる排ガス再循環方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0006  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0006】

上記課題を解決するために、本発明は以下の手段を採用する。

本発明は、ボイラで燃焼された排ガスを排出する経路から分岐し、スクラバーを介して

、イナートガスとして原油タンクに流通させる第 1 経路と、前記原油タンクから発生した V O C ガスを前記ボイラの火炉内または前記ボイラの点火装置であるバーナに流通させる第 2 経路と、前記第 1 経路の前記スクラバーより下流側と、前記第 2 経路とを接続する第 3 経路とを備え、前記原油タンクからの V O C ガスの発生量が所定値以下の場合に、前記第 3 経路に前記イナートガスを流通させて、前記ボイラの火炉内または前記バーナに前記イナートガスを供給させることを特徴とする排ガス再循環システムを提供する。

上記排ガス再循環システムの前記スクラバーは、前記イナートガスを 8 0 以下程度の温度に低下させてもよい。